

(社) 日本建築学会
戸建て住宅の振動特性 WG 第 16 回議事録案

- A. 日 時： 令和元年 6 月 21 日 (月) 15:00—17:55
B. 場 所： 建築会館 B1A 会議室
C. 委 員： 国松主査、他 9 名
D. 資料：

番号	内容
16-0	20190320 第 15 回 WG 議事録 (案) 杉本作成 20190408 修正版.docx
16-1	WIB 工法業務の流れ 20190621WG-2.pdf
16-2	戸建て予測 2019 年大会原稿 (最終) .pdf
16-3	20190621SWG 資料_振動数比較.pdf

※資料に関しては学会ストレージに保存しています。上記資料でアップロードをしていない方はアップロード願います。
オブザーバーはストレージに入れられないため、WG 終了後データ送付にて共有します。

E. 議事：

1. 環境振動運営委員会ホームページ (http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s17/AIJ_EVindex.html) の紹介
✓ 国松主査より紹介があった。
2. 第 15 回 WG 議事録の確認 (資料 16-0)
✓ 「鋼管杭」を「支持杭」に修正することで了承された。
3. 『WIB 工法業務の流れ 直近の 2 例を通して』(資料 16-1)
✓ 2 つの事例 (事例 1: 住宅造成地の鉄道振動対策、事例 2: 戸建て住宅の地下鉄振動対策) が紹介された。
✓ 事例 2 では、シミュレーション結果と計測結果とが乖離した。
✓ 乖離は予測結果より実際の対策効果が大きくなる結果であった。
✓ せん断波速度 V_s を N 値から推定するのではなく、直接求める方法もあるが、すごくお金がかかるので戸建てでは現実的ではない。ばらつきを考えて対策するのがポイント。
✓ 関東地区と関西地区とでは地盤の性状が異なる。関東地方で測らせていただくことはできないか？
✓ 建物が建った後のデータがない。
✓ 施工前・施工後、途中経過の見学は可能か？第 3 者の測定は可能か？→施主、住宅メーカーの許可が得られれば可能
✓ 鉛直だけでなく水平のデータも欲しい。
✓ 評価は敷地の真ん中でなく、厳しいところで評価してほしい。
✓ 事前対策と事後対策を継続して検討する。
✓ 竹宮氏には次回も参加していただき、今後も情報共有していきたい。
4. 大会梗概について (資料 16-2)
✓ 大会梗概『戸建て住宅の環境振動における性能評価レベル推定の考え方』の説明があった。
✓ 表 1 の「データ母数」を増やすためにデータをご提供いただきたい。
✓ 骨組だけの状態での測定データと完成後の測定データがあれば、内外装材の寄与が分かる。
✓ 資料 16-3 に基づき、データの説明があった。
✓ 木造 3 階建は構造計算をするので、質量、剛性は調べることができるが、2 階建ては構造計算をしていないので、質量と剛性を求めることは難しい。
✓ 構造計算をしていない建物については、質量と剛性を推定する方法を考える。

- ✓ 設計指針については、戸建ては戸建てでつくる。
- ✓ 外部振動に特化するのか、内部加振による振動も含めて全体的に検討するのか？→今後の検討課題ではあるが、まずは外部振動について検討を進める。

F. 次回：

次回は3か月後くらい（9月か10月）に実施。後程調整する。

以上